

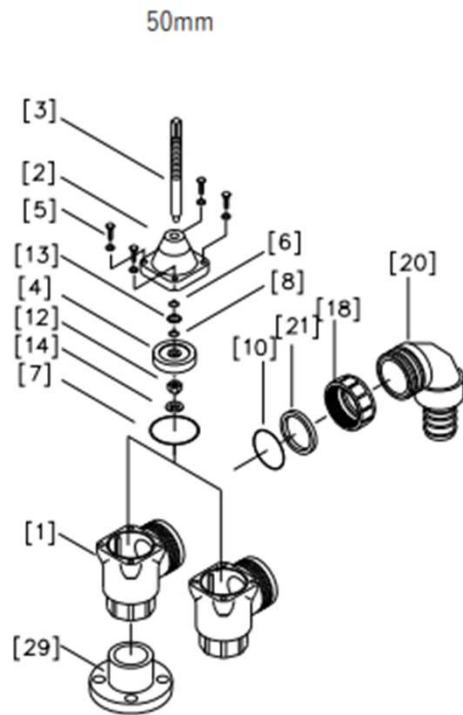
自由形アングルバルブ（給水栓） 日常メンテナンス時の分解方法について

2025年10月吉日
旭有機材株式会社

福岡営業所
北島 慧

弊社の自由形アングルバルブをご採用いただき、誠にありがとうございます。
長く安心・安全にご使用いただくため、
日常メンテナンス時の分解方法についての資料を作成いたしました。
是非ご活用ください。





[1]	ボディ	[12]	ナット(A)
[2]	ボンネット	[13]	ワッシャー
[3]	ステム	[14]	E型止め輪
[4]	ディスク	[18]	キャップナット
[5]	ボルト	[20]	エルボ(A)
[6]	Oリング(A)	[21]	ストップリング
[7]	Oリング(B)	[29]	フランジ
[8]	Oリング(C)		

準備するもの

▶ トルクレンチ

▶ スパナ

▶ 保護手袋

▶ 保護手袋

▶ ボルト

▶ ベルトレンチ

<分解>

[手順]

- 1) 六角ボルトをワッシャーと共に取りはずします。
- 2) ポンネット部全体を上部へ取りはずします。
- 3) 次にE型止め輪をマイナスドライバーでこねることによって取りはずし、六角ナットを緩めると、弁体・Oリング・座金などの一連の部品がフリーの状態となります。
- 4) ステムを反時計方向に回して緩め、ポンネットから取りはずします。
- 5) バルブの二次側(吐出部)は、キャップナットを反時計方向へ緩め取りはずすことによって、全ての部品がフリーとなります。(アタッチメントの取替えが可能です)

<組立>

[手順]

分解の手順と逆の手順で行います。

バルブサイズ50mm（標準採用品）分解方法

- 1) 六角ボルトをワッシャーと共に取りはずします。 2) ポンネット部全体を上部へ取りはずします。 3) 次にE型止め輪をマイナスドライバーでこねることによって取りはずし、六角ナットを緩めると、弁体・Oリング・座金などの一連の部品がフリーの状態となります。



- 4) ステムを反時計方向に回して緩め、ポンネットから取りはずします。 5) バルブの二次側(吐出部)は、キャップナットを反時計方向へ緩め取りはずすことによって、全ての部品がフリーとなります。(アタッチメントの取替えが可能です)



※パイプレンチで行うと傷が付きますので
ベルトレンチをご使用ください

状態	原因	処置方法
全閉にしても流体が止まらない	シートのキズつきまたは磨耗	シートの手直しまたは交換
	異物の噛み込み	2～3 度バルブを開閉して洗い流してみる。それでも止水できない場合は解体して清掃する。
	パッキンのキズつきまたは磨耗	弁体の交換 (パッキンのみの交換はできません)
外部漏れがある	Oリングのキズつきまたは磨耗	Oリングの交換
ハンドル開閉が重い	異物の付着	清掃
	変形(熱変形等)	部品交換
ハンドルが空回りする	ステムの破損	ステムの交換
	ステムと弁体の嵌合部の破損	ステム・弁体の交換

小石や枝などの異物がバルブ内部に入り込むと、漏れや各部品の傷や摩耗に繋がります。
定期的な清掃・メンテナンスをしていただくことで、より長期間、快適にご使用いただけます。

警告

強制

重傷を負うおそれがあります。

- ▶ 使用する機械工具及び電動工具は、事前に必ず安全点検を行ってください。
- ▶ 配管施工する際は、作業内容に応じた適切な保護具を着用して作業を行ってください。
- ▶ バルブの取替えや部品交換の際には、配管内の流体を完全に抜いてください。
また流体が抜けない場合は、流体の圧力をゼロにしてください。

注意

強制

ケガをするおそれがあります。

- ▶ 不具合現象が確認されたときは速やかに使用を中止し、処置を行ってください。
- ▶ バルブまたは部品を交換する際にバルブを配管から取り外すときは、配管内の流体を完全に抜いてから作業を行ってください。



**ASAHI
YUKIZAI**

Great Niche Explorer™

私たちは、ニッチ市場を極める探究者となり
「はじめて」に挑み「違い」をつくり
信頼の品質と真摯な対応による安心の提供と
ものづくりのプロセスをお役立ちで支えることで
社会に貢献し続けます